

1 学年題材指導評価計画

うたにあわせてたんたんたん (6 時間扱い)

1 . 題材のねらい

歌ったり身体表現したりして、拍の流れを感じ取ることができるようにする。
拍の流れに乗って、簡単なリズムが表現できるようにする。

2 . 教材について

(1) 「じゃんけんぼん (芙龍明子作詞 / 橋本祥路作曲) 」

《学習指導要領 1・2 年生の内容との関連》 A (1) ア , A (2) イ

“ ぐう ” “ ちょき ” “ ぱあ ” を子供の日常生活の中で身近に接することのできる様子と結びつけて取り上げたもので、擬声や擬態の表現がユーモラスである。各フレーズの終わりすべて $q \ q | \ q \ \hat{I}$ になっていて、この曲の特徴ともなっている。歌ったり、遊んだりすることを通して、拍の流れを感じ取ったり、 $q \ q | \ q \ \hat{I}$ のリズムフレーズを感じ取らせていきたい。

(2) 「けんけんぱ (石桁冬樹作詞・作曲) 」

《学習指導要領 1・2 年生の内容との関連》 A (1) ア , A (4) ア

けんぱのリズム感を生かした曲で、遊びながら自然とリズムに対する感覚が身に付くように工夫されている。また、2 フレーズ目では、ウサギや小犬の代わりに自由に好きな動物の名前を入れて身体表現を工夫することができる。楽しい歌と遊びを通して、基本的なリズムフレーズ $q \ q | \ q \ \hat{I}$ に対する感覚を身につけさせていきたい。

(3) 「ぶん ぶん ぶん (村野四郎作詞 / ボヘミア民謡) 」

《学習指導要領 1・2 年生の内容との関連》 A (1) イ , A (4) ア

旋律は 5 音のみで構成され、A B A による 3 部形式となっている。単純でありながら、A と B の対比の調和が美しい小品である。 $q \ q | \ q \ \hat{I}$ のリズムフレーズを中心に、歌ったり、手拍子をしたり、打楽器でリズムを打ったりする活動を通して拍の流れを感じ取らせていきたい。

(4) 「しろくまのジェンカ (平井多美子作詞 / ケン ウォール作曲) 」

《学習指導要領 1・2 年生の内容との関連》 A (1) ア , A (2) イ , A (4) ア

$q \ \hat{I} | \ q \ \hat{I} | \ q \ q | \ q \ \hat{I}$ のリズムフレーズはジェンカのステップそのものである。踊りや自由な身体表現を通して、ジェンカのリズムを楽しく学習することができる。ゲーム的な要素を加えながら踊ることもできる。音楽に合わせて楽しく表現しながら、拍子の流れや $q \ \hat{I} | \ q \ \hat{I} | \ q \ q | \ q \ \hat{I}$ のリズムフレーズに対する感覚を身につけさせていきたい。

(5) 「かたつむり (文部省唱歌) 」

《学習指導要領 1・2 年生の内容との関連》

A(2)イ, A(2)ウ, A(3)イ, A(4)ア, B(1)イ

3行詩の歌詞は、呼びかけや問いかけの言葉から、かたつむりに寄せる愛らしい気持ちを感じさせる。旋律も最後のフレーズに頂点が置かれ、かたつむりをいとおしむ気持ちが高められている。2拍子のこの曲は4小節のフレーズが3度繰り返されるが、いずれのフレーズも最終拍が休符となっていて自然に q q | q q | q q | q \hat{I} のリズムフレーズを感じ取ることができる。このリズムを基本に q \hat{I} | q \hat{I} | q q | q \hat{I} など休符を含む応用的なリズムを表現するのにも適している。

3. 題材の評価規準

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受 や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の 評価 規 準	リズムフレーズに関心を持って、楽しんで活動しようとしている。	拍の流れを感じ取って、歌い方や身体表現の仕方を工夫している。	楽曲に合わせて、リズム表現や身体表現を楽しんでいる。	拍の流れやリズムフレーズを感じながら聴く。

<p>範唱を聴いて、歌に合わせて自ら身体を動かしたり、楽しく歌唱表現したりしている。</p> <p>〔Aと判断するキーワード〕</p> <p>身体表現。</p> <p>笑顔で歌唱。</p> <p>カスタネットに興味をもち、楽しくリズム奏に取り組んでいる。</p> <p>〔Aと判断するキーワード〕</p> <p>意欲的な取り組み。</p> <p>真剣な表情。</p> <p>楽器を大切に扱う。</p> <p>拍の流れに乗しながら手拍子を打ちながら友達と表現を楽しんでいる。</p> <p>〔Aと判断するキーワード〕</p> <p>アイデア。</p> <p>仲良く話し合い。</p>	<p>楽曲の気分を感じ取って、身体表現や歌い方を工夫している。</p> <p>〔Aと判断するキーワード〕</p> <p>曲に合わせた身体反応。</p> <p>表情の変化。</p> <p>歌に合わせて楽器を演奏するよさや楽しさを感じ取っている。</p> <p>〔Aと判断するキーワード〕</p> <p>楽しそうな表情。</p> <p>バランスを考えた演奏。</p> <p>言葉のもつリズムの違いや、拍の流れに乗って表現するおもしろさを感じ取っている。</p> <p>〔Aと判断するキーワード〕</p> <p>言葉のもつリズムにあった身体表現</p> <p>様々な身体表現</p>	<p>拍の流れに乗って歌ったり、リズムフレーズを表現したりしている。</p> <p>〔Aと判断するキーワード〕</p> <p>拍の流れを感じ取った身体のゆれ</p> <p>拍の流れに乗った歌唱</p> <p>カスタネットの正しい奏法を身に付けて、リズムフレーズを演奏している。</p> <p>〔Aと判断するキーワード〕</p> <p>拍の流れを意識したりリズム打ち。</p> <p>正しい奏法。</p> <p>拍の流れに乗ってリズム遊びをしている。</p> <p>〔Aと判断するキーワード〕</p> <p>拍の流れにのったリズム打ち。</p> <p>正確なリズム遊び。</p>	<p>様子を思い浮かべたり、拍の流れを感じ取ったりしながら聴く。</p> <p>〔Aと判断するキーワード〕</p> <p>思い浮かんだ様子について、自分なりの言葉で発表。</p> <p>拍の流れを表すような発言。</p>
--	--	--	--

4. 指導と評価の計画（6時間扱い）

：取り扱い項目 取り扱い重点項目

	学習活動	具体の評価規準	指導要領との関連	内容のまとめ				評価方法
				歌	器	創	鑑	
				唱	楽	作	賞	

1	<p>< じゃんけんぽん > 歌に合わせて身体表現の工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱を聴いて曲の感じをつかむ。 ・ 範唱に合わせて、楽しく歌う。 <p>拍の流れに合った身体表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拍の流れに合った身体表現をする。 ・ 範唱に合わせて歌ったりじゃんけんをしたりして楽しむ。 	<p>ア -</p> <p>イ -</p>	<p>A (1) ア</p> <p>A (2) イ</p>					<p>行動観察 歌唱聴取</p> <p>身体表現</p>
2	<p>< けんけんぱ > 範唱を聴いて身体表現をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱を聴きながら、リズムに合わせて、口ずさんだり身体を動かしたりする。 ・ 範唱に合わせて q q q \hat{I} のリズム打ちをしたり、けんぱ遊びをしたりする。 <p>みんなでけんぱ遊びをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書のイラストを使い指でけんぱ遊びをする。 ・ 輪を使ってけんぱ遊びをする。 	<p>ア -</p> <p>ウ -</p> <p>ウ -</p>	<p>A (1) ア</p> <p>A (4) ア</p> <p>A (4) ア</p>					<p>行動観察 歌唱聴取</p> <p>身体表現</p> <p>身体表現</p>

3	<p><ぶん ぶん ぶん> q q q \hat{I} のリズムフレーズに慣れ，楽しく歌ったりリズム打ちをしたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴き，拍の流れに合うリズムを見つけながら歌う。 ・歌に合わせて，q q q \hat{I} のリズムをグループや一人ずつで打つ。 <p>拍の流れに乗ったリズム遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱に合わせて，q q q \hat{I} のリズム打ちを工夫する。 ・q q q \hat{I} のリズムを打ちながら子どもの名前を呼び，子どももq q q \hat{I} のリズムを打ちながら“はい”と答える。 ・q q q \hat{I} のリズムを打ちながら，子供どうして名前を呼び合ったり，好きな果物や乗り物などを言ったりするリズム問答をして楽しむ。 	ア -	A (1) ア						<p>行動観察 歌唱聴取</p>
		ア -	A (4) ア						<p>リズム打ちの観察 リズム打ちの観察 行動観察</p>
		ウ -	A (4) ア						
		イ -	A (4) ア						<p>行動観察 リズム打ちの観察</p>

5	<p><かたつむり> かたつむりの様子を思い浮かべながら聴いたり，歌ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴いて曲の感じをつかむ。 ・かたつむりについて知っていることなどを自由に話し合う。 ・これまで学習してきたリズムフレーズを生かし，かたつむりの様子をイメージしながらもう一度範唱を聴く。 ・拍の流れに乗ってリズム打ちをしながら歌う。 <p>カスタネットの奏法に慣れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持ち方や打ち方を知る。 ・歯切れのよい音の出し方を知り，打てるように練習をする。 ・歌に合わせてあのリズムフレーズを打つ。 <p>グループに分かれて歌ったり，カスタネットを打ったりする。</p>	エ -	B (1) イ						<p>行動観察</p> <p>歌唱聴取</p> <p>行動観察</p> <p>リズム打ちの観察</p>
6	<p>曲の感じをとらえ，カスタネットの打ち方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カスタネットの正しい奏法を振り返り，あのリズムフレーズをもう一度打つ。 ・歌に合わせていのリズムフレーズをカスタネットで打つ。 <p>2グループに分かれてリズム奏を楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あといの好きなリズムをたたくことを知り，互いに聴き合う。 ・あといのリズムフレーズの違いを感じ取り，カスタネットでリズム奏をする。 	ウ -	A (3) イ						<p>奏法チェック</p> <p>リズム打ちの聴取</p> <p>発言</p> <p>行動の観察</p> <p>演奏聴取</p>